

2021年9月5日 聖霊降臨後第十五主日礼拝説教  
「なぜ救い主に求めないのか」(マルコ7章24～30節)

○マルコ7章24～30節について

「イエスはそこを立ち去って、ティルス<sup>1</sup>の地方に行かれた。」(24節)

①そこ：ガリラヤ湖畔の「ゲネサレトという土地」(6章53節)

②ティルス：湖から遠く離れた地中海沿いにある町。そこは国境を超えた異邦人の地フェニキアにあった。

救い主イエスが、フェニキアに来られた時、「汚れた霊に取りつかれた幼い娘を持つ女」(25節)が、みもとに来て娘の癒しを願った。女は〈ギリシア人〉であったが、彼女の信仰をとおして、キリストは娘から悪霊を追い出された。

今日のみことば：マルコ7章27節

「イエスは言われた。『まず、子供<sup>い</sup>たちに十分<sup>こども</sup>食べさせなければならぬ<sup>じゅうぶん</sup>。子供<sup>い</sup>たちのパン<sup>こども</sup>を取って、小犬<sup>と</sup>にやっ<sup>こいぬ</sup>てはいけない。』」

あ) 子供たち：神の選びの民であるイスラエルの人たち

い) 小犬：ユダヤ人は異邦人を犬と呼んでいたが、小犬という言葉は、家族から可愛がられている犬を指す。

☆神の憐れみが救いの外にいた人々へ

キリストは、女が、みことばを悟り「主よ、しかし、食卓の下の小犬も、子供のパン屑<sup>い</sup>はいただきます。」(28節)と答えたのを喜ばれ、その信仰により、神のわざを現された。

☞救い主イエスは、ギリシア人の女との出来事をとおして選びの民でも異邦人でも、キリストを信じて、みわざを求める者の願いに応え、救いを与えられることを示された。

\* 「パン屑<sup>い</sup>でも、パン屑<sup>い</sup>さえあれば」の信仰を受け継ごう。

◎聖書朗読：エフェソ2章11～13節(新共同訳聖書)

あなたも「キリストの血によって」(13節)、選びの民とされ、神の救いを受けるに値する者へと変えられた。